

遊働一致の職業奉仕

私の職業は、「司会者」です。22歳の時、友人の結婚式の司会から始まり、正式に数えていませんが、1500組はやったでしょうか。その後、三味線の先生が司会も上手だったことに影響を受け、民謡、歌謡、舞踊ショーなどの司会を続け、50年になりました。

駆け出しから若い時は、いわゆるカッコつけた司会をしていました。有頂天になり増上慢になっていました。そんな時に、天罰は下るもので、会社経営に失敗し、まる裸になったのです。約1年は引きこもっていたでしょうか。ロータリーも辞めとても司会どころではなく、一生司会は出来ないものと思っていました。

私を励ましてくれたのは、アマチュアのカラオケ愛好会の仲間でした。私はハタと気づき猛省しました。アマチュアを大切にしなければならない。ちょうど還暦を過ぎたあたりでした。人生は60からだ。身も心も生まれ変わり、これからは、上手くやろうとせず、褒められようとせず、自分をさらけ出す自然な形で司会をしよう。そう思うとスッと力が抜け、お客さんからも真に喜んでもらえるようになりました。

酒田ロータリークラブ60周年を契機に再入会し、その後、4回目の会長、ガバナー補佐まで務めさせて頂きました。職業を通して社会に奉仕するというロータリーの精神は高邁で不可侵なものです。

司会は天職です。好きなことを職業とし、お客さんから喜んでもらい、少しばかり社会に奉仕出来る。なんと幸せなことでしょう。働きが遊びであり、遊びが働きになっている。まさに、遊働一致です。人間は働きが一切であり働きが全てです。働きこそ最大の喜びです。

ロータリークラブに入会し学び、職業奉仕の大切さを実感しています。私は、24時間司会者として生きています。これからも、生涯一司会者として頑張ります。何処かでお目にかかったら気軽に声を掛けて下さい。

まかせて安心、つかって便利、無口な司会者、タカハシヒロヤでございます。拍手が無くてもがんばります。

つたない小文に目を止めて頂き、ありがとうございました。